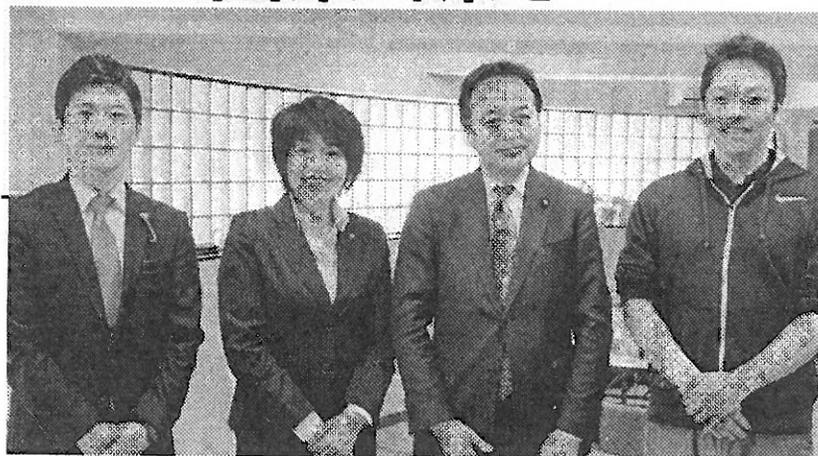


長沢から介護予防事業 国策へ訴え



矢沢孝雄 市議会議員
吉沢章子 市議会議員
島村大 参議院議員
小田祥大さん

麻生区・東百合丘にある介護
予防施設「はなまる元氣塾」
で、地域の方や市議会議員と
ともに意見交換会を行った。
塾長の小田祥大さん(42)が、
以前から訴え続けている介護
予防の問題をテーマに約1時
間話し合いを行った。

小田さんは「高齢者のケガ
や病気の要因の多くが運動不
足によるもの」と話す。ス
タッフがすべて面倒を見てく
れる高齢者施設には国からの
補助が出るものの、自分で動
く力を身に付けるようにする
「はなまる元氣塾」のような施
設には援助があまり出ないとい
う。超高齢化社会に近づい
ていく中で、「要介護」になる
ことを防いで、高齢者の通院
費を減らす。介護費を抑え、医療
費を削減していく活動をして
いながら、国・自治体の援助が
減らされているのが現状だ。

現場から熱い思いを伝える

東百合丘 はなまる元氣塾

ながさわ つながる新聞

Vol.28

実際小田さんの周りには、そ
のような志を持っているが、
介護保険制度や会社の方針で
無力感を感じながら働いてい
る人もいるという。

このような現状を聞いた議
員の方からは「現在、予防とい
う概念で成功している(国か
らの補助が出る)のはメタボ
健診のみ。現場の声を聞いた
上でしっかりとデータを収集
し、通った利用者さんが長生
きしている、といったような工
ビデンス(科学的根拠)を提出
することが必要」という意見
があった。

データを取るには時間もか
かる。国や自治体を動かすに
は、現実問題としてまだまだ
遠い話なのかもしれない。そ
れでも小田さんは「分かりま
した。少しでも改善してもら
えるように頑張ります」と力
強く語った。医療費・介護費を
抑え、国民の負担を減らし、
しっかりとした介護予防で多
くの高齢者が生きがいを感じ
て生活できる社会を小田さん
は目指している。

日刊スポーツ新聞社

松熊洋介

介護予防サービス

はなまる元氣塾

(要支援) 維持改善率約90%
☎044-969-7080

かわさき 商工人

▷ 210 ◁

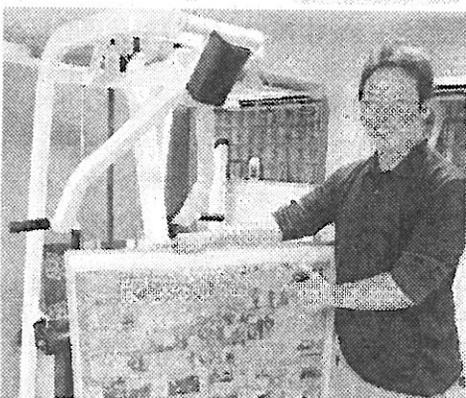
要介護の人が一人もいない、
要支援者のみの「予防特化型」
のサービスを行う事業所が
ある。「はなまる元氣塾」を運
営するBMSだ。超高齢社会に
突入している中で、介護に頼ら
ず生涯自立をサポートする「介
護予防」の観点からの取り組み
という。

社長の小田祥大さんは、高校
時代に過度な筋力トレーニング
で体を壊した。その時に出会っ
たトレーナーに感銘を受け、ト
レーナーという仕事に就くこと
を決めたという。専門学校に進
み、その後フィットネスクラブ

(株)BMS

社長 小田 祥大さん(42)

施設に「はなまる」笑顔



に就職。川崎市の委託を受け、
「介護予防・パワリハ事業」
のトレーナーとして、お年寄り
のサポートに当たっていた。
その時、寝たきり状態だった
老人から涙ながらに「ありがと
う、あなたが施設を小田さんに運営し

(株)BMS 川崎市多摩
区東三田3の10の1の527.
☎044(969)7080. 2010年7
月創業。資本金300万円。従
業員数10人。ホームページ
http://bms-genkiuku.com
/index.html

てほしいという声が強くなり、
自分のノウハウや知識を生かし
たいという思いもあり「はなま
る元氣塾」を創業。当初はスタ
ッフを集めるのも一苦労したと
いうが、地元の長沢商店会を通
じて、さまざまな人たちが交流
を重ねるうちに、その人脈を通
じてスタッフが集まり始めた。
「いまや地元の協力が無いと運
営できません」と小田さん。活
動が認められ、地元へ根付いて
きた証拠だ。

平成29年4月5日(水)
神奈川新聞 川崎版

携帯ゲームが当たる!!

長沢商店会マップ

たから
宝さがしゲーム

店内どこかに
お宝の人が好きな漢字が
隠されています。
すべて、書き写してください。

はなまる	元氣塾	フィットネス	はなまる
福			
音			
		信	青

【応募方法】
宝さがしゲームは、上記店舗にある応募用紙に記入し
て、お宝の人に渡してください。大抽選会にて、賞品が
当たります。分からないことは、
お問い合わせください。

※長沢地域にお住まいの一人様1回有効!!
※全店舗が有効

特典: PS VITA 専用
Newニンテンドー3DS LL

8店舗を回って、漢字を書き写します。
「長沢商店会マップ」は、商店会会員店舗ASA南生田で
入手できます。
大勢のご参加をお待ちしています。
6月20日(火)応募〆切

気ままなレポート

“川崎市民俗芸能発表会”を觀賞して

川崎市民俗芸能保存協会（廣田健一会長）と川崎市教育委員会が主催する「第39回川崎市民俗芸能発表会」が平成29年3月5日（日）、多摩市民館ホールで開催されました。当日は市内の民俗芸能保存9団体と愛川町の招待団体「三増（みませ）獅子舞保存会」が参加し、多摩区内からは県の無形民俗文化財にも指定されている「菅の獅子舞」はじめ菅祝唄初瀬保存会、五反田節保存会、登戸古民謡保存会、宿河原囃子保存会など5団体が登場、それぞれ各地に伝わる郷土色豊かな伝統芸能を披露し、延べ600人の観客を楽しませました。

最初の「菅祝唄初瀬保存会」（昭和50年・設立）による“祝唄「初瀬」”は、源頼朝の妻、北条政子の妹が稲毛三郎のもとに嫁いだ時に歌われたのが始まりとされ、菅では結婚式で『初瀬』が終わらなければ他の唄は歌ってはいけないとされた格式の高いものであったと言われていました。

次の“有馬大正踊り八木節”は、先人が本場の群馬県からの伝承によって八木節を演じるようになり、有馬独自にアレンジした「蛇の目傘」「花笠」などを用いた踊りを披露しました。

3演目の「五反田節」は、旧津久井道の小泉橋を渡って大洞橋あたりまでは「榎戸」と呼ばれ旅館・居酒屋などで賑わった当地の、めでたい祝い唄であったようです。

4演目は諏訪神社祭り囃子保存会の「祝い舞」です。諏訪のお囃子はこのあたりが諏訪河原と呼ばれていた明治の初め頃、正月の『五穀豊穡』『無病息災』の祝い舞として根付いていったそうです。

5演目の「大師めでたや」は羽田と大師だけに伝わる祝い唄で婚礼・建前舟おろしなどにかかわらず、唄ったものです。

6演目はゲストとして愛川町「三増（みませ）獅子舞保存会」の客演です。この獅子舞は江戸時代中頃には既に舞われていました。

7演目は登戸古民謡の「登戸田植え唄」は稲毛節とも言われ、江戸時代から明治にかけて歌われ、「焼き米つき唄」は1907（明治40）年頃まで、焼き米をつきながら杵の調子に合わせて歌われた作業唄でした。

8演目の宿河原囃子保存会の「子どもと大人の囃子」は焼き米をつきながら杵の調子に合わせた作業唄で横浜市元石川から伝えられ、昭和初期頃に、多摩川の取り持つ縁で「大田区田園調布の囃子」となって、現在も交流が続いているそうです。

神奈川県指定無形民俗文化財の「菅の獅子舞保存会」は9番目に登場しました。菅の獅子舞は1771（明和8）年、菅村が鎮守根神と薬師で「獅子角力祭」行なってきたもので、村役人に復活興業を願い出た古文書があることから相当な歴史が偲べれます。

おとりは川崎市指定重要習俗技芸の「新城郷土芸能囃子曲持ち保存会」です。笛や太鼓の軽快な囃子の調べに合わせ、米俵や酒樽で力技を見せる曲持は、明治初期に農家の若者が、石・臼・俵などで力自慢を競い合ったことから始まり、やがて脚立や箱、升などを使い米俵を投げ合う曲持ちへと姿を変え、昭和48年頃からお囃子がついて重量55kgの俵を持ち上げ力技を披露したあと、道具を使って約20kgの俵を操る多彩な技は目を見張るものがあります。

この発表会は第1回が1979（昭和54）年、11団体にエポック中原から始まってその後、多摩市民館ホールでは第3回・第19回・第25回・第30回と続き、そして第39回の2017（平成29）年が多摩市民館ホールの開催で通算5回を数えることになりました。



第14回（平成4年3月）宮前市民館ホールで行なわれた『長沢謡保存会』ご一行

ここで地元・長沢の米山初江さんから、『かつて「長沢謡保存会」（松澤章会長）が11名で“謡「高砂」”を発表したことがあるのよ!』と。

寄せていただいた資料を見ると「明治の中頃長沢から稲城市百村（もむら）に通って覚えてきたのが始まりとされ、婚礼などの祝い事に歌われるようになった」とのことでした。

同保存会は昭和63年に設立され、その後「代」が移り後継者難もあって現在は伝統が薄れつつあるのは残念です。

それと川崎市民俗芸能保存協会には加盟していませんが、地元の「長沢囃子保存会」（米山多津夫代表）を紹介します。

『当会は幕末から長沢の地に根付き時代の波に、もまれながらも180年の歴史を重ねています。この長沢囃子を後世に伝えるべく、現在お子さんを含めて14人のメンバーで毎週土曜日に諏訪社務所で巧みな所作と情感たっぷりの稽古を重ねています』

主なイベントとしては年越：大晦日から元旦（深夜）、祭礼：9月第2週金曜の（宵宮）と土曜の（お神輿巡行・大祭）、新年会：長沢自治会はじめ、納涼会：生活クラブ、長沢壮寿の里など、行事：地域教育会議たぬきフェスティバル、JA農業祭りほか、長沢小学校3年生対象に出前授業を実施しています。いつの日か「長沢囃子保存会」が、川崎市民俗芸能発表会に出演するのを楽しみにしています。

お昼には＜多摩区老連＞提供の“お弁当”をいただき、演目が終わったところで「お餅」が振るまわれておひらきとなりました。

文・長沢長生会 長谷川武

【参考資料】

- (1) 川崎市民俗芸能保存協会「創立30周年記念誌」（多摩図書館所蔵）
- (2) 平成9年「第19回多摩区郷土民俗芸能大会・解説書」（米山初江さん提供）
- (3) 平成28年12月23日（祝・金）第5回長沢音楽祭「ながさわにこにこハーモニー」プログラム
- (4) 平成29年「第39回川崎市民俗芸能発表会」解説

長沢商店会 花の写真コンテスト

条件

西長沢交差点から
東長沢交差点までに咲く
「はなみずき」と「つつじ」

最優秀賞

1点 5,000円（金券）

優秀賞

3点 2,000円（金券）

はなみずき賞 数点

スポンサー賞 数点

庭先不可

応募期間
2017

4/15(土) ▶ 5/6(土)

展示 5/7(土) ~ 5/14(日)

会場 長沢ひろば（HAC向かい）

表彰式 5/14(日) 13:00 ~

《お問合せ》☎.044-976-0540 ASA南生田

☎.044-977-7898 ビューティよねやま

応募用紙配布中

お一人様3点まで

■主催：長沢商店会

■協力：長沢自治会・長沢花みずき会・生田高校・百合丘高校